

JA みねのぶ

8月号



野菜生産者グループ「カラフル」でレタスを栽培する皆さん
(三浦泰来さん圃場(美唄市峰延町峰樺))

■発行日/令和4年8月1日/No.1444号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

「カラフル」のレタス

出荷順調

当JA管内の野菜生産者グループ「カラフル」では、キヤベツとレタスを栽培していて、6月16日からレタスの出荷が始まっています。

7月12日、美唄市峰延町峰樟3区の多目的倉庫前に90ケース（1ケース8玉）が持ち込まれ、コ一
ピきつぼろ（岩見沢南店・岩見沢東店・美唄店・野幌店・江別店）
やイオン（三笠店・岩見沢店・石狩店・手稲店）などに出荷されま
した。生産者の努力により、こだ
わった品質が評価され、新たな出
荷先も増えています。

今年のレタス作付面積は250ヘクタールで、高温・少雨の影響を受けた昨年に比べると、質・量ともに順調に生育しています。グループ全体で収穫量10万玉を目指しています。

今年のレタス作付面積は250



レタスを出荷する森川喜孝さん

生産者へハーブ「アツプルミン」ト」を1,460株引渡しました。

今年のハーブ米の作付戸数は10
戸で、生産量は3ヘクタール。

香りの畦みちハーブ米生産組合では、水田の周りにハーブを栽植し、カメムシの発生源であるイネ科雑草を抑制し、農薬の使用量を北海道が策定した化学合成農薬の成分使用回数22回に対し、半分以下に減らした「香りの畦みちハーブ米」を生産しています。また安心安全な農産物の供給と、環境保全型農業の実践に取り組んでいます。

3年ぶりの
ハスカツプ狩り盛況

6月27日からJA管内の6カ所の観光農園で、ハスカツプ狩りが始まりました。新型コロナウイルスの影響で中止していましたが、農園の受付や料金精算などをを行う農舎では、手指の消毒・マスクの着用を呼び掛け、感染対策を徹底した中での3年ぶりの再開となりました。

どの農園にも、初日から数10人が訪れ、楽しげに紫色の実を探る方々があちこちにいて賑わっていました。



ハーブ苗を軽トラックに積み込む林職員



ハスカップ狩りを楽しむ皆さん

生育状況の確認などを目的に、
部会事務局で行いました。

トルコギキョウ 出荷最盛期に備える



感染症対策を徹底した受付の様子

6月27日、花王俱楽部の圃場巡回を部会役員、札幌花き園芸株、JAみねのぶ部会事務局で行いました。
トルコギキョウを24ヶ月作付けしている花王俱楽部の伊藤俊春さんは初出荷を迎え、昨年より9日早い出荷となりました。今年は部員3人で77ヶ月を作付。8月中に出荷のピークを迎え、6万本の出荷を目指しています。

花王俱楽部のトルコ出荷開始

7月3日、トルコギキョウを24ヶ月作付けしている花王俱楽部の伊



生育状況を確認する高田会長と
札幌花き園芸株若松次長

当管内では、水稻の直播栽培に
取り組む生産者が増加しており、
栽培技術の安定を図ることを目的
に行われました。

水稻直播現地講習会 栽培技術の安定図る



選果作業の様子



現地で説明を受ける生産者の皆さん

講習会終了後の質疑応答では、倒伏を防ぐための植物成長調整剤の散布の有無や、発生雑草に対する除草タイミングについてなど、多くの質問があり有意義な講習会となりました。

数の方にどちらから来たかを聞くと、札幌や旭川など遠方から訪れた方が圧倒的に多く、この日を待つていたと話す方ばかりでした。ハスカップ狩りを中止した2年間のハスカップの実はどうしたのかと尋ねる方もいました。

高橋組合長は、朝7時から次から次へと訪れる方々の対応に嬉しい悲鳴を上げていました。

生産者のハウスを一棟ずつ巡回。早い方は2月下旬に定植をしており、今後の出荷時期の見込みや追肥の回数など情報共有を図りました。札幌花き園芸株の若松次長からは他産地の出荷時期や花の情勢についてもお話しがありました。

札幌花き園芸株の若松次長からは他産地の出荷時期や花の情勢についてもお話しがありました。

伊藤さんは「1日に切れる本数を考えながら、自分にあつたスタイルを模索している。収穫のタイミングを逃さず、1本でも多く出荷したい」と話しました。

講師に空知農業改良普及センターの谷村普及指導員と岡崎普及指導員を招き、播種からの初期管理の仕方や、入水管理について、除草・防除のタイミングなどを説明しました。

講習会終了後の質疑応答では、倒伏を防ぐための植物成長調整剤の散布の有無や、発生雑草に対する除草タイミングについてなど、多くの質問があり有意義な講習会となりました。

「峰千加」農薬について研修

6月29日、みねのぶの女性農業者グループ「峰千加（ほうせんか）」は長沼町にある「日本農薬㈱長沼ナーセリー」で視察研修を行いました。部員8人が参加し、3年ぶりの開催となりました。

農薬の開発から誕生、なぜ農薬が必要なのか、農薬がなくなったら農産物はどうなってしまうのかについてDVDを鑑賞。農薬の商品開発の流れや農薬の適正な使用方法について学びました。

研修後は「田園レストラン里日和」で昼食をとりながら、今後の峰千加の活動について話し合いました。



農薬についてDVDを鑑賞



視察研修に参加した皆さん

小麦刈り取りスタート

小麦集出荷調製施設操業開始

小麦集出荷調製施設の本年産小麦の受入開始は、昨年より1日早い7月23日から始まりました。

刈り取り作業は早いところで7月15日から始まり、21日頃にピークを迎える予定です。

今年の小麦集出荷調製施設のピット毎の出荷一番乗りは美唄市上美唄町南の井沢貴司さんと美唄市上息の仲河守さんで、それぞれ「きたほなみ」2351キロと2106キロを搬入。記念として伊藤組合長、高田専務からお祝いの品を手渡しました。



秋播き小麦刈り取り作業の様子



記念品を受け取る
(左から)井沢貴司さんと仲河守さん



J A本所前で交通安全を呼び掛ける

職場内の交通安全意識の醸成と地域社会で車両を使って事業活動をする一員として無事故・無違反を社会に広く訴え掛け、「交通事故のない安全で安心な社会の実現」を目指すことを目的に毎年行っています。

黄色の「旗の波」で交通安全呼び掛ける

6月30日、朝8時から国道12号

沿いのJA本所前歩道で「スピードダウン」などと記した黄色の旗を振り、往来するドライバーへ交通安全を呼び掛けました。



トラックから育苗箱を荷下ろしする様子

農業用廃プラスチック38トンを回収 資源の有効利用目指す

J A青年部は7月8日、峰樺3

区の農産物検査場所で使用済み農業用廃プラスチックの回収を行いました。

産業廃棄物である廃プラスチックをリサイクルすることで、環境保全の推進や資源の有効利用を促進することを目的に毎年取り組んでいます。

同日は146人の生産者が持ち込んだ、約38㌧の使用済みハウスビニールや育苗箱などを青年部員が分別しました。分別した廃プラスチックは、苦小牧市の工場で固

形燃料にリサイクルされ、火力発電所で化石燃料の代替燃料として再利用されます。

J A青年部では年2回、廃プラスチックの回収作業を行つており、次回は10月下旬の実施を予定しています。



入口で車輌の誘導をする青年部員

中心に荒れた天気が続いている中、幸い空知は天候に恵まれ開催することができてよかったです。友達と顔

を合わせて話しをするのが一番の老防止になる。ぜひ親睦を深めてほしい」とあいさつしました。

参加者は9組に分かれ3つのコースから一斉にスタート。日頃の練習の成果を發揮しようと真剣にプレーしていました。

今大会の優勝者は、男性部門は渡辺幹夫さん（峰延東松盛会）、女性部門は新谷俊子さん（峰延東松盛会）で競技終了後に表彰式が行われました。

J Aグループは、消費者に対する国産農畜産物を安定供給する使命を果たすべく、自己改革を実践、生産現場で環境調和型農業の実践・拡大に向けた取組みを推進することとし、生産資材高騰対策の具体化、将来を見据えた食料安全保障強化に向けた施策の拡充に向け、J Aグループの意思結集を図ろうと、J A全国中央会と全国農業者農政運動組織連盟が主催し全国大会が開催されました。

開会式で吉田会長は「西日本を

峰延農協年金友の会
パークゴルフ大会
7月15日、峰延農協年金友の会（会長 吉田栄）は三笠市岡山にある三笠市パークゴルフ場でパークゴルフ大会を行い、33人が参加しました。



緊急全国大会開催 生産資材高騰対策の具体化、 食料安全保障強化し

J Aグループの意思結集

7月22日の11時から砂防会館別館（東京都千代田区）で開催され、コロナ禍によりWebでの視聴も可能となり、J A三階会議室に設置された大画面に中継されました。三階会議室には、11人の組合員が参加しリアルタイムで映し出される大会の様子を真剣に聞き入っていました。

J A 共済一斉推進終る

本年度の長期共済一斉推進は、6月20日（月）から5日間の日程で行いました。

今年はJA職員とJA共済連の応援2名による3班体制で組合員宅に出向き推進を行いました。

初日の20日には、当JA本部事務所で進発式を行い、JA役職員や共済連岩見沢支所の職員が参加しました。

進発式で伊藤組合長は「組合員の気持ちや生活に寄り添つた提案をしてほしい」とあいさつしました。

今回の一斉推進では、糠乾燥場収用品の建物更生共済の加入をはじめ、新医療共済への切り替え契約など、保障額で8億6864万円の推進結果となりました。ご加入に対して厚くお礼申し上げますとともに各戸への訪問の際には、農作業を中断してご対応いただき感謝を申し上げます。

今後は、推進期間中にあいにく不在でお会いできなかつた方を含め再度訪問いたしますので、宜しくお願いいたします。

伊藤組合長は「それぞれ担当業務は違うが、相手の気持ちを思い図りながら、職員同士の対話を大切にしてほしい」とあいさつしました。

伊藤組合長は「それぞれ担当業務は違うが、相手の気持ちを思い図りながら、職員同士の対話を大切にしてほしい」とあいさつしました。

役員コンプライアンス研修会

6月14日、当JA会議室で正職員を対象にコンプライアンス研修会を行いました。

講師にJA北海道中央会岩見沢支所の三浦主幹と大場職員を招き、不祥事ゼロ運動の取り組みとして、「働きがい・仕事の楽しさを考える」をテーマにグループワークを行いました。

伊藤組合長は「それぞれ担当業務は違うが、相手の気持ちを思い図りながら、職員同士の対話を大切にしてほしい」とあいさつしました。

6月28日、当JA会議室でJA役員を対象にコンプライアンス研修会を行いました。

不祥事根絶に向け、不祥事ゼロ運動に係る取り組みをJAにおいて実践し、定着化させることを目的に行われました。JAグループ北海道では、令和4年度から令和6年度までの3か年の期限を設定し、不祥事ゼロに向け、重点的に集中的に取り組むこととしています。

職員コンプライアンス研修会

「日常業務の中でどんな時に働きがいや仕事の楽しさを感じるか」については、組合員から名前を覚えてもらつた時や組合員から感謝された時、目標を達成し自己成長を感じた時などの意見が出され、活発な意見交換が行われました。

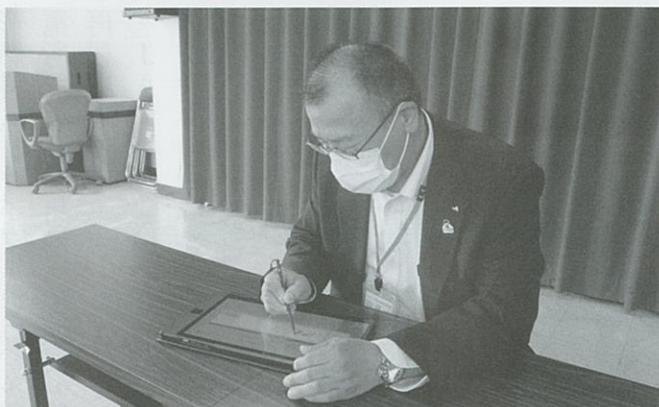
JA北海道中央会岩見沢支所の桑原次長で、令和3年度に発生した不祥事の概要や不祥事ゼロ運動の取り組みについて研修を受けました。

おくやみ申し上げます

講師はJA北海道中央会岩見沢支所の桑原次長で、令和3年度に発生した不祥事の概要や不祥事ゼロ運動の取り組みについて研修を受けました。



進発式の様子



先陣を切って契約を結ぶ伊藤組合長



テーマに沿って意見交換が行われました

東 幸子さん (72歳) 7月7日 岩見沢市北村中小屋4480番地

新酒発売スタート 酒米「彗星」に入魂



栗山町に委託して造る「一圓融合」の新酒が発売を開始しました。7年間使用してきた原料の酒造好適米「きたしづく」から「彗星」に変更し、合わせてパッケージのデザインも一新しました。

J Aみねのぶ生活店舗で販売しています。

同酒造会社によると「上品にうわ立つ華やかな香りが特徴。穏やかな甘みや旨味を持ち合わせるフレッシュな純米大吟醸」と話していました。

空知の酒蔵「小林酒造」の醸造技術と米作りの誇りが生み出した究極の逸品をぜひご賞味ください。

J A職員野球大会開催

強豪JAに惨敗し初戦敗退

第63回空知管内JA野球大会が6月27日、7月1日に栗山町民球場と長沼町運動広場野球場で行われました。

J Aみねのぶ野球部は6月27日に第60回大会優勝のJAピンネと対戦しましたが、0対9で残念ながら1回戦で敗戦しました。応援ありがとうございました。



第6回(7月) 定例理事会の開催

7月25日開催の第6回(7月)定例理事会において次の事項が決定されました。

尊徳翁は次のように話された。太平の世が続き、大きな戦争がないとは言つても、小さな事件が起らぬといふ年はない。このことは、心配すべきことである。ただし、事件が起こることはいつても、それを補う方法を用意してあれば、影響を受ける割合は少ない。もし、補う方法や仕組みの準備がないときは、大きな影響を受けてしまうであろう。

昔の言葉に「三年分の蓄えが無ければ国とは言えない」というのがある。兵隊がいても、軍備や食

報徳 変事に備える道



- ◇付議事項◇
- 1. 諸規程の一部変更について
- 2. コンプライアンスプログラムの一部変更について
- 3. 組合員による持分の譲渡の承認について

料の蓄えが無ければ、戦いのしようがない。このことは国だけの事ではなく、家庭にも通じることである。いろいろな事にゆとりや蓄えが無ければ、必ず支障をきたして家庭を穩便に保つことは出来なくなる。結局のところ、家庭でも国でも同じことである。

私が指導していることでは、僕約を最大の実行目標としているが、このことを、ケチケチすることを勧めているという人があるが、そうではない。ケチのための僕約を勧めているのではない。僕約を勧めているのは、事件や異変に備えるためである。また、私が蓄財を勧めているという人がいる。私は、蓄財を勧めているのではない。世の中を救い、世の中の人々の心を豊かにするために、そう勧めているのである。

論語に、「飲食を切り詰めて、神々に真心を尽くし、衣服を質素にして、祭りの前垂れと冠を立派なものにし、住まいを粗末にして灌漑の水路の為に力を尽くす」とある。このことをよく理解すれば、ケチなのか僕約しているかはすぐ判る筈である。

青年部だより

With
JA YOUTH
Smiles
Vol. 3

廃プラスチック回収を終えて

石上 和哉

7月8日に春の廃プラスチック回収を行いました。

今年も昨年同様で組合員様にご協力をお願いして計量場までご足労いただきまして、回収重量が38800kgとなりました。当日はコロナ対策のためにマスク着用のうえ、密にならないように配慮しての活動でした。日程の



変更がありましたが大きなトラブルもなくスムーズに終えることができたと思います。

改めて組合員の皆様、盟友の皆さんにご協力いただいた事にお礼申し上げます。

なお、今後とも廃プラスチック回収にご協力をお願いいたします。

営農視察研修を終えて

渡辺 慶太朗

7月11日に営農視察研修を行つてきました。

コロナ禍ではありますが3年ぶりの開催でした。

研修先は苫小牧で、「日本ニューホランド(株)苫小牧デポ」と「フアームHFT」を見学しました。

「ニューホランド(株)苫小牧デポ」では、ビジターセンター・工場内・部品庫を見学しながら説明をして頂きました。特に工場内のトラクター・作業機・コンバインの組立作業や出荷点検を見ることができ、とても安心・安全で農作業に使用できると思いました。

「フアームHFT」では、32haの農場で、小麦、甜菜、馬鈴薯、大豆、南瓜などの作物を栽培・販売し、社員の研修やニューホランドに入る機械のテストを行つてい

ます。

GPSの自動トラクターに乗車している所を見られてとても良い勉強になりました。

その後「キリンビアレストランハウベ」で懇親会が行われ、盟友同士親睦を深めました。

研修に参加して普段見ることのできない場所、聞けないことを学ぶことができ、とても貴重な研修となりました。

ありがとうございました。



JAみねのぶ青年部
令和4年度新加入部員紹介



おおとも 友翔 へい平



やまもと 伸 隼

北村中小屋の山本隼です。

就農以前は7年間、農機会社で働いていました。その経験を生かし、自分自身で整備などをしています。

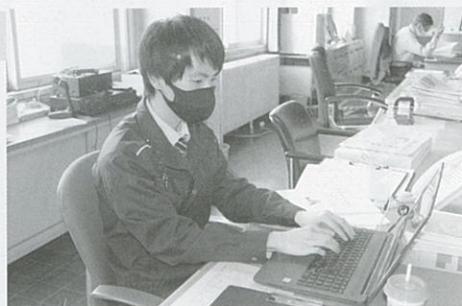
また、農業について分からぬ事は多々ありますがよろしくお願ひいたします。

当JAの業務紹介**vol.2**

前月に引き続き、当JAの業務内容を部署毎に紹介します。

内部監査室

内部監査室では、被監査部門から独立して設置し、JA経営全般にわたる管理及び各部門の業務の遂行状況を内部監査態勢の適切性と有効性の観点から検証・評価を行い、課題の指摘や改善の提言を行っています。

**金融課(貯金)**

金融課(貯金)では、貯金、振込、公共料金取扱など、いわゆる銀行業務といわれる業務を行っています。

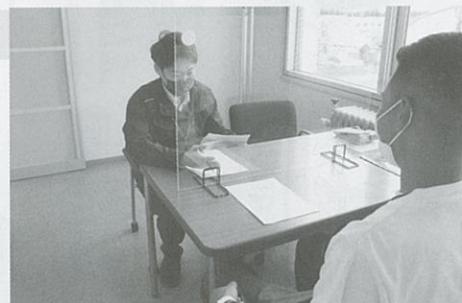
**金融課(共済)**

金融課(共済)では、組合員・利用者の皆さまの財産(ひと·いえ·くるま)を相互扶助によりトータルに保障しています。生命保障と損害保障の両方を実施しており、皆さまの日常生活で必要とされる様々な保障ニーズにお応えするべくサービスの向上に取り組んでいます。

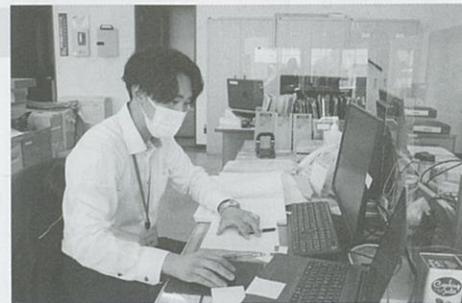
**金融課(融資)**

金融課(融資)では、農業所得向上に向けた農業関連資金をはじめ組合員・利用者の皆さまの身近な資金やマイカー、教育、住宅新築・購入等に必要な資金を融資しています。

また、農業者年金の加入・推進、農業労災の事故受付を行っています。

**農業振興課**

農業振興課では、地域農業振興計画の樹立と進行管理、経営所得安定対策等の各種補助事業、市町村や各関係機関との連携、担い手の育成、各種作業受委託、栽培履歴、土地改良事業(国営・道営・団体営)等の業務を行っています。

**営農資材課**

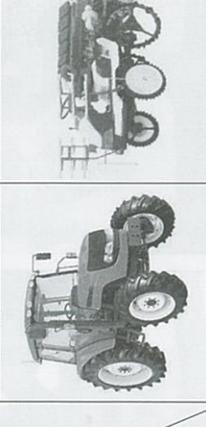
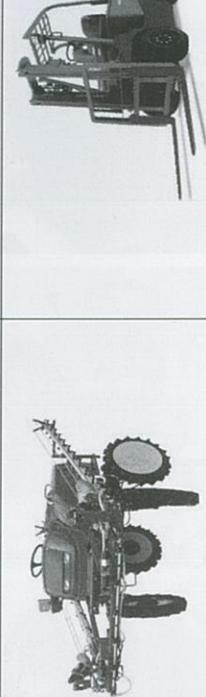
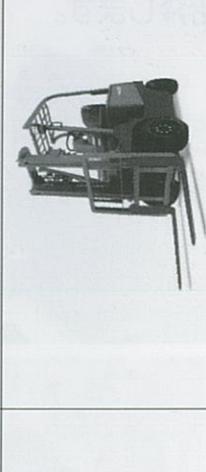
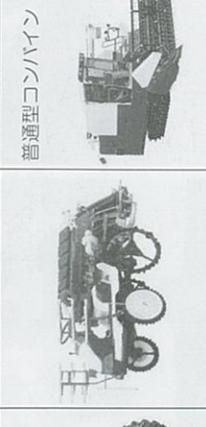
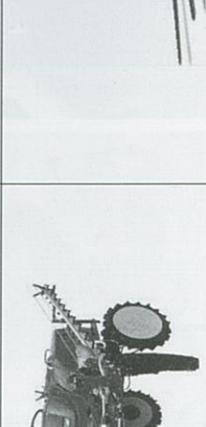
営農資材課では、肥料、農薬などをはじめとする生産資材物資を安定的に供給しています。



作業中の万一に安心保障を！

農作業機は自動車共済に加入していくまですか？

JA共済

乗用トラクター	田植機	普通型・自脱型コンバイン	ブームスプレイヤー	フォークリフト
				
(注) 12ヶ月で お申し込み下さい。	普通型コンバイン 	自脱型コンバイン 		
共済掛金 （12ヶ月）	共済掛金 （1ヶ月） 4,410円	共済掛金 （2ヶ月） 33,480円	共済掛金（3ヶ月） 44,320円	共済掛金（3ヶ月） 24,490円
新規 19,000円（一時払）	新規 108,380円（一時払）	新規 91,410円（一時払）	新規 59,800円（一時払）	新規 34,020円（一時払）
1年間無事故の場合	1年間無事故の場合	1年間無事故の場合	1年間無事故の場合	1年間無事故の場合
継続契約の掛金 16,030円（一時払）	継続契約の掛金 10,980円（一時払）	継続契約の掛金 62,670円（一時払）	継続契約の掛金 50,440円（一時払）	継続契約の掛金 34,570円（一時払）
おすすめプラン	（農耕作業用小型特殊自動車） 等級：6D等級 対人賠償：無制限 対物賠償：無制限（免責0万円） 対物超過修理費用用保険特約：あり 事故有系數適用期間：0年 車両保障（全損損害担保）：1,000万円 自動繰返特約：あり（12カ月未満の契約を除く）	（農耕作業用小型特殊自動車） 等級：6D等級 対人賠償：無制限 対物賠償：無制限（免責0万円） 対物超過修理費用用保険特約：あり 事故有系數適用期間：0年 車両保障（全損損害担保）：300万円（免責1万円） 自動繰返特約：あり（12カ月未満の契約を除く）	（農耕作業用小型特殊自動車） 等級：6D等級 対人賠償：無制限 対物賠償：無制限（免責0万円） 対物超過修理費用用保険特約：あり 事故有系數適用期間：0年 車両保障（全損損害担保）：300万円（免責1万円） 自動繰返特約：あり（12カ月未満の契約を除く）	（農耕作業用小型特殊自動車） 等級：6D等級 対人賠償：無制限 対物賠償：無制限（免責0万円） 対物超過修理費用用保険特約：あり 事故有系數適用期間：0年 車両保障（全損損害担保）：300万円（免責1万円） 自動繰返特約：あり（12カ月未満の契約を除く）

■農作業機運行中の事故により…	【車両条項において保障の対象となる事故の例】 ◆衝突・接触・墜落・転覆・物の飛来・物の落下等 ◆偶然な事故による死傷や物の壊滅による損害 ◆火災・爆発・台風・洪水・高潮等の突然な事故による生じた損害 ◆人身を死傷させてしまった。（対人賠償責任条項） ◆自車の車や物を壊してしまった。（財物損害賠償条項、汽船過修理工賃用保険特約） ◆自身のご家族が死傷してしまった。（人身傷害保険条項、傷害定額給付条項） ■偶然な事故により… 農作業機に損害が生じてしまった。（車両条項）	※共済金のお支払いには所定の要件があります。 ※上記掛金は令和4年4月時点の共済掛金です。 ※車両保障は農作業機の現在の価値（価額）に合わせて設定させていただきます。 ※「1年間無事故の場合」、「10年間無事故の場合」の掛け金・車両保障は、現在の掛け金率・価値（価額）で試算しています。 ※この資料は概要を説明したもののです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧下さい。また、ご契約の際には、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧下さい。
-----------------	---	---

お問い合わせ JAみねのぶ 金融課（共済） TEL(0126)67-2113

※このチラシの有効期限は令和4年12月31日までです。

2201999050